

On-site Laboratory 概要

<グリーン多孔性材料ラボトリー>

「グリーン多孔性材料ラボトリー」は、本学高等研究院物質—細胞統合システム拠点（iCeMS）と、触媒化学に力を入れている科学技術研究庁物質工学研究所（IMRE）が、IMRE 内に共同で設置し、多孔性材料を用いる環境触媒研究を行い、環境に資する新しい分野の開拓を目指すラボです。

本ラボの設置を契機に、最先端融合研究のより一層の伸長、現地の他研究機関との連携強化が期待されます。

京都大学On-site Laboratory 「グリーン多孔性材料ラボラトリ」 Laboratory for Green Porous Materials

基本情報

- ◆実施部局: 高等研究院 iCeMS
- ◆相手方機関: 物質工学研究所 (IMRE)
- ◆設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆設置時期: 2021年3月設置予定
- ◆設置場所: IMRE内(シンガポール)
- ◆設置目的: 最先端の融合研究

◆教育研究活動内容:
多孔性材料を用いる環境触媒研究を行い、優秀な留学生を獲得すると共に京都大学大学院生、博士研究員を派遣し国際的な環境下において教育する

期待される波及効果

- ・ 京都大学のシンガポールA*STARにおける窓口となる
- ・ シンガポールの物質科学研究における大学・研究所との橋渡しが可能
- ・ 留学生による京都大学若手教員、学生の活性化
- ・ 京都大学学生の国際化

活動概要

